

まどい

纏

発行番号： MFF51-2112

町田市消防団第5分団第1部



発行日：2021年12月

発行責任者：部長 守屋 忍

発行編集者：広報 村越 海斗



日頃より消防団活動へのご理解とご協力を頂き、心から感謝しております。



小山小学校特別授業(3学年社会科『消防団のお仕事』)



今年も小山小学校の3年生に特別授業を実施しました。消防団の活動内容や、消防車をはじめ器具等の装備について説明を行い、授業の最後には実際に火災が起きた時を想定した演劇で児童達に興味をもってもらえる様分かり易く説明をしました。











今年は実際に消防車から水を出しました。

最後は全員で敬礼!

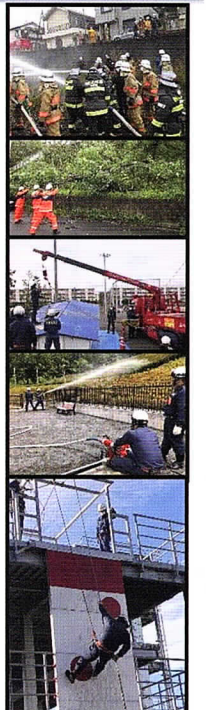


消防団の活動内容

消防団は普段どんな活動をしているのか紹介します。

-  **火災** → 火災が発生した場合は、迅速に火災現場へ急行し消火活動等を行います。
-  **水災** → 被災者がいる場合は救助等を行います。また避難指示に基づき広報活動等を行います。
-  **台風警戒** → 水災同様ですが、影響がある間は昼夜を通して警戒等もしています。
-  **震災** → 被災者がいる場合は救助等を行います。当部には救助指導者が2名在籍しています。
-  **危険排除** → 交通事故等による2次災害の危険がある場合は状況に応じた活動等を行います。
-  **パトロール** → 毎月1回以上、消防車で管轄区域の警戒パトロールを行い町内を点検します。
-  **月例点検** → 災害時に備え、消防車や装備している器具や消火栓の点検等を行います。
-  **訓練** → どんな災害にも対応できるよう色々な訓練等を行います。この活動が最多です。

その他にも、防災訓練・救命講習・専科研修・町内会行事警戒・操法大会・出初式など多くの活動があります。私たちは、町内の防災を目的とした安心・安全を守るため、昼夜を問わず活動をしています。



住宅火災から大切な命を守ろう

令和2年中の火災による死者76人のうち、9割以上の71人が住宅火災で亡くなっています。住宅火災において死者が発生した主な出火原因は、「たばこ、ストーブ、こんろ」です。火災から大切な命と住まいを守るために、日頃からしっかりと備えましょう！

死者が発生した

住宅火災の主な出火原因

身近なところから火災が発生しています



たばこによる火災



たばこによる火災を防ぐには…

- 寝たばこは絶対にしない。
- 飲酒→喫煙→うたた寝に注意する。
- 吸殻を灰皿にためない。
- 吸殻は水で完全に消してから捨てる。
- 火種を落とさないよう安全な場所で喫煙する。

ストーブによる火災



ストーブによる火災を防ぐには…

- 周囲に燃えやすいものを置かない。
- 外出時や就寝時は必ず消す。
- 給油は必ず消してから行う。
- ストーブの近くで洗濯物を乾かさない。

こんろによる火災



こんろによる火災を防ぐには…

- 調理中に離れない。
- 周囲に燃えやすいものを置かない。
- 防災品のエプロンやアームカバーを使用する。
- 火が鍋底からはみ出さないよう調節する。
- 安全機能(SIセンサー)付きこんろを使用する。



↑町田市消防団の消火活動が掲載されました。

東京消防庁 広報誌(第43号)より抜粋

	歳末警戒について	サイレンについて
連絡事項	<p>12月27～30日(4日間) 19:00～22:00 火災予防を目的に広報活動を行います。 ご理解とご協力をお願いいたします。</p>	<p>消防車の緊急走行時をはじめ、消防団では火災発生時に器具置場の塔屋に設置された参集サイレンを鳴らし消防団員に火災を知らせ集めます。また、町内会の方々に近くで火災が発生している事を知らせる目的もあります。 お住いの場所によっては非常に大きな音量でご迷惑をお掛けしますが、火災発生時に、より円滑で迅速な活動を行うため、ご理解とご協力をお願いいたします。</p>



消防団員急募!!

一緒に地域を守る防災リーダーとして
仲間を募集しています!!

お気軽にお電話ください。親切に対応いたします。

自分たちの町は、自分たちで守る!!

～守られる人から守る人に～

【お問い合わせ】

部長 守屋 忍

090-4820-2423

町田市消防団第5分団第1部



119

町田消防署からのお知らせ

1 町田消防署管内の火災状況

(1) 火災件数は11月15日現在で102件発生しており、昨年より14件多く発生している状況です。

火災原因は昨年同様の右上写真のような電気機器等による火災が増えています。これはコロナ禍で外出を控え、家庭内での生活スタイルが定着したことで、電化製品の使用頻度が増えたことが原因の一つと考えられます。また、右下写真のような充電式リチウムイオンバッテリーからの火災が増えてきております。こまめな点検や清掃、取り扱い説明書に従った正しい使用に留意いただくようお願いいたします。

(2) 12月から火災多発期に入ります。空気が乾燥するなど、火災が発生しやすい気象条件となります。今一度、火気の取り扱いには十分注意するようお願いいたします。



電気ストーブ



電気コンロ



テーブルタップ



発火した充電式製品

2 家具類の転倒防止対策

令和3年10月6日(水)岩手県沖を震源とする地震で青森県階上町で震度5強を観測、同月7日(木)千葉県北西部を震源とする地震が発生し足立区で震度5強を観測しており、町田市の一部地域で震度5弱の強い揺れを観測しました。この地震の揺れにより青森市や横浜市ではタンスや本棚が倒れ複数のケガ人が発生しました。

近年発生した地震で怪我をした原因を調べると、約30%~50%の人が、家具類の転倒・落下・移動によるものです。

ご家族の負傷、火災の発生、避難障害の発生を防ぐためには、家具類の転倒・落下・移動防止対策が非常に大切です。

詳しくは、東京消防庁HPにある右図の家具転倒対策ページをご覧ください。

**地震だ！
必ず身の安全**

していますか？

家具類の転倒・落下・移動防止対策

対策の方法は、東京消防庁ホームページに掲載されている「家具類の転倒・落下・移動防止対策ハンドブック」を参考にしてください。

東京消防



東京消防庁



3 餅などによる窒息事故に注意

毎年12月から1月にかけて餅などによる窒息事故が多くなります。特に高齢者(65歳以上)の事故が多く、約9割を占めています。

餅などによる事故を防ぐポイント

- ① 餅は小さく切って、食べやすい大きさにしましょう。
- ② 急いで飲み込まず、ゆっくりと噛んでから飲み込みましょう。
- ③ 乳幼児や高齢者と一緒に食事をする際は、適時食事の様子を見るなど注意を払うよう心がけましょう。
- ④ 餅を食べる前に、先にお茶や汁物を飲んで喉を潤しておきましょう。
- ⑤ いざという時に備え、応急手当の方法をよく理解しておきましょう。

窒息の応急手当ってどうやるの？



動画はこちらから
ご覧いただけます。



4 新規格消火器のお知らせ

消防法令に基づいて設置されている旧規格消火器は2021年12月31日までに交換が必要とされています。

詳細は下記の問合せ先にお問い合わせ先をお願いします。

問合せ先
一般財団法人日本消火器工業会
TEL:03-3866-6258
FAX:03-3864-5265
www.jfema.or.jp

